

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 6 部門第 1 区分
【発行日】令和 1 年 7 月 4 日 (2019.7.4)

【公開番号】特開 2019-74415 (P2019-74415A)
【公開日】令和 1 年 5 月 16 日 (2019.5.16)
【年通号数】公開・登録公報 2019-018
【出願番号】特願 2017-200834 (P2017-200834)
【国際特許分類】

G 0 1 N 23/046 (2018.01)

G 0 1 N 23/083 (2018.01)

【F I】

G 0 1 N 23/04 3 2 0

G 0 1 N 23/083

【手続補正書】

【提出日】令和 1 年 5 月 28 日 (2019.5.28)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

複数の被検査体に X 線を照射する X 線発生器と、前記 X 線発生器との間で複数の前記被検査体を挟むように配置される二次元の X 線検出器と、複数の前記被検査体のそれぞれが載置される複数の回転テーブルと、前記 X 線検出器が接続される制御部とを備え、

複数の前記回転テーブルは、複数の前記被検査体のそれぞれの透視像が重ならない状態で前記 X 線検出器に写し出される位置に配置され、

複数の前記被検査体の検査時に、複数の前記回転テーブルは、同時に回転し、前記 X 線検出器は、複数の前記被検査体の前記透視像が写る二次元の X 線画像を順次、複数枚取得し、前記制御部は、取得した複数枚の前記 X 線画像に基づいて複数の前記被検査体のそれぞれの C T 画像を生成するとともに、

前記制御部は、取得した複数枚の前記 X 線画像に基づいて 1 個の前記被検査体の前記 C T 画像を生成するときに、複数枚の前記 X 線画像のそれぞれの中の、前記 C T 画像が生成される 1 個の前記被検査体の前記透視像が含まれる部分のみを用いた所定の演算を行って前記 C T 画像を生成することを特徴とする X 線検査装置。

【請求項 2】

複数の被検査体に X 線を照射する X 線発生器と、前記 X 線発生器との間で複数の前記被検査体を挟むように配置される二次元の X 線検出器と、複数の前記被検査体のそれぞれが載置される複数の回転テーブルと、前記 X 線検出器が接続される制御部とを備え、

複数の前記回転テーブルは、複数の前記被検査体のそれぞれの透視像が重ならない状態で前記 X 線検出器に写し出される位置に配置され、

複数の前記被検査体の検査時に、複数の前記回転テーブルは、同時に回転し、前記 X 線検出器は、複数の前記被検査体の前記透視像が写る二次元の X 線画像を順次、複数枚取得し、前記制御部は、取得した複数枚の前記 X 線画像に基づいて複数の前記被検査体のそれぞれの C T 画像を生成するとともに、

前記制御部は、取得した複数枚の前記 X 線画像に基づいて 1 個の前記被検査体の前記 C T 画像を生成するときに、複数枚の前記 X 線画像のそれぞれの中の、前記 C T 画像が生成される 1 個の前記被検査体の前記透視像が含まれる部分を切り出すとともに、切り出した

部分のみを用いた所定の演算を行って前記 C T 画像を生成することを特徴とする X 線検査装置。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0008

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0008】

上記の課題を解決するため、本発明の X 線検査装置は、複数の被検査体に X 線を照射する X 線発生器と、X 線発生器との間で複数の被検査体を挟むように配置される二次元の X 線検出器と、複数の被検査体のそれぞれが載置される複数の回転テーブルと、X 線検出器が接続される制御部とを備え、複数の回転テーブルは、複数の被検査体のそれぞれの透視像が重ならない状態で X 線検出器に写し出される位置に配置され、複数の被検査体の検査時に、複数の回転テーブルは、同時に回転し、X 線検出器は、複数の被検査体の透視像が写る二次元の X 線画像を順次、複数枚取得し、制御部は、取得した複数枚の X 線画像に基づいて複数の被検査体のそれぞれの C T 画像を生成するとともに、制御部は、取得した複数枚の X 線画像に基づいて 1 個の被検査体の C T 画像を生成するときに、複数枚の X 線画像のそれぞれの中の、C T 画像が生成される 1 個の被検査体の透視像が含まれる部分のみを用いた所定の演算を行って C T 画像を生成することを特徴とする。また、上記の課題を解決するため、本発明の X 線検査装置は、複数の被検査体に X 線を照射する X 線発生器と、X 線発生器との間で複数の被検査体を挟むように配置される二次元の X 線検出器と、複数の被検査体のそれぞれが載置される複数の回転テーブルと、X 線検出器が接続される制御部とを備え、複数の回転テーブルは、複数の被検査体のそれぞれの透視像が重ならない状態で X 線検出器に写し出される位置に配置され、複数の被検査体の検査時に、複数の回転テーブルは、同時に回転し、X 線検出器は、複数の被検査体の透視像が写る二次元の X 線画像を順次、複数枚取得し、制御部は、取得した複数枚の X 線画像に基づいて複数の被検査体のそれぞれの C T 画像を生成するとともに、制御部は、取得した複数枚の X 線画像に基づいて 1 個の被検査体の C T 画像を生成するときに、複数枚の X 線画像のそれぞれの中の、C T 画像が生成される 1 個の被検査体の透視像が含まれる部分を切り出すとともに、切り出した部分のみを用いた所定の演算を行って C T 画像を生成することを特徴とする。

。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0012

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0012】

また、本発明では、制御部は、1 個の被検査体の C T 画像を生成するときに、複数枚の X 線画像のそれぞれの中の、C T 画像が生成される 1 個の被検査体の透視像が含まれる部分のみを用いた所定の演算を行って C T 画像を生成しているか、または、制御部は、1 個の被検査体の C T 画像を生成するときに、複数枚の X 線画像のそれぞれの中の、C T 画像が生成される 1 個の被検査体の透視像が含まれる部分を切り出すとともに、切り出した部分のみを用いた所定の演算を行って C T 画像を生成している。そのため、短時間で適切に C T 画像を生成することが可能になる。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0013

【補正方法】削除

【補正の内容】